

区では葉色が濃くなり、生育も進んだ。しかし収穫時には差がなく、増収には結びつかなかった。短期間の効果を利用する場合には有効な場合も考えられるとしている。

2. タ マ ネ ギ

(1) OK-301S 液剤 (大塚化学薬品): 保留
— 全成績の提出をまって判定。
タマネギの貯蔵中の発芽・腐敗を防止しようとする薬剤で、MH-30 と類似の化合物である。

前回、大阪農技センターと和歌山農試とが報告
ずみで、今回は岐阜農試の成績が検討された(兵庫農総農試では試験実施中)。収穫 1 週間前に
120 倍液を、100 l / 10 a 散布したところ、10 月
5 日の調査で、ほう芽率は無処理の 28 % に対し
12 % と低かった。しかし腐敗球は反対に 12 % に対し 28 % と高くなっていた。このような関係を
さらに改善するため、さらに低濃度での処理を
検討することを提案している。
(終)

昭和51年度水稲作関係除草剤
試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度水稲作関係除草剤の適用性試験成績中央検討会の結果を報告する。

1. 供試除草剤の動向

本年度の委託総点数は 855 点で、前年度とはほぼ同一である。その内容は、成苗移植栽培対象除草剤は 27 点、稚苗移植栽培対象は 778 点であり、湛水直播栽培対象としては 7 点、乾田直播栽培対象が 27 点、畦畔雑草対象として 16 点が委託実施された。

2. 試験結果の概要

本年度供試薬剤の判定結果は、第 1 表の通りである。供試薬剤総数は 113 剤で、「実」の判定は 15 剤、「実および継」の判定は 63 剤で、これらは全体の 69 % に該当する。また「継」の判定は 35 剤で、「継？」、「中止」の判定薬剤は皆無であった。使用基準の作成されたものは、第 2 表に一覧表として掲載した。

第 1 表 昭和 5 1 年度 水稲作関係除草剤適用性試験結果判定表

	実	実および継	継
I-4 成苗 茎葉兼土 壌処理		N-301 粒, B-3015・S・MCPB 粒.	OH-16-G 粒.
I-5 成苗 適用時期 拡 大	S-28・AM.		

	実	実および継	継
II-1 稚苗 土壌混和 処 理		RH-2915 粒, RH-2915 乳, B-3015 乳, B-3015・K 乳, G-315 ④乳, G-315-PS, プタクロール乳.	SL-041 液, X-150 液.
II-2 移植前後 土壌処理	NK-049・S 粒.	MC-79 粒, SW-751 粒, SW-751A 粒, MTS-1 粒, CM-202 粒, CM-203 粒, X-52 水和, X-52・SK-23 粒, プタクロール(5.0%)粒, プタクロール(2.5%)粒, CNP-18 粒.	NK-50 粒, NK-511 粒, CG-113 粒, CM-201 粒, CM-204 粒, X-150(3%)粒, X-150(5%) 粒.
II-3 移植後 土壌処理	モリネート・K 粒, モリネート・K・PHC 粒.	S-28 粒, MSW-1 粒, モリネート・M 粒, MT-B-3015 ④粒.	CG-113 粒, NKB-1 粒, YH-3 粒, KH-191 粒.
II-4 茎葉兼 土壌処理	TH-63 粒, モリネート・K・M 粒.	S-28・S・M 粒, CG-102 粒, モリネート・S・M 粒, KH-195 粒, B-3015・S・MCPB 粒, SMX 粒.	NK-512 粒, NK-513 粒, TIH-76 粒, YH-5 粒, NTN-90・K・M 粒, CH-16-G 粒.
II-5 適用時期 拡 大	CG-102 粒 (ヒルムシロ), CG-102 粒 (年次変動), CG-102 粒 (ミズガヤツリ), TH-63 粒 (地域拡大), シメトリン・MCPB(3.5) 粒, モリネート・S・M 粒, シメトリン・MCPB(2.5) 粒, BAS-3510 水和.	S-28・AM 粒, HOK-05B 粒, HOK-06 粒, CG-102 粒 (地域拡大), CG-102 粒 (ホタルイ), TH-63 粒, NK-049 粒, シメトリン・MCPB(2.5) 粒, SMX 粒 (地域拡大), SMX 粒, SMX(Na) 粒, BAS-3510 水和, BAS-3510(Na) 液, モリネート・K・M 粒, MT-101 粒, TNY-53 粒, B-3015・S・MCPB 粒, N-301 粒, MCP・BAS(Na) 液, MCP・BAS ④粒, MCC・M15 粒, 2・4-PA・BAS ④粒, KH-191 粒, モリネート・S・M 粒, S-28・AM 粒, BAS-3510(Na) 粒, SC-7616 粒, MCP-BAS 水和.	NTN-90・K・M 粒, TIH-76 粒, (X-52)→ACN 粒, CH-16-G 粒, KH-198 粒.
III-1 湛水直播	TNY-53 粒.		NK-50 粒.
III-2 乾田直播		G-315 ④乳, BAS-3510(Na) 液, S-28・P 乳, B-3510・P 粒, B-3015・P 乳.	エス・MGF 粒.
IV 畦 畔		DCMU 水和.	P-412 水和, SL-501 水和, SL-502 水和, SL-501・P 水和, SL-502・P 水和, ポミカル DM 水和.
V 耕 起 前			BAS-3510 液, BAS-3510 水和.

注) 本年度は, 「継?」, および「中止」と判定された薬剤はなかった.

第2表 昭和51年度水稻作関係実用化除草剤使用基準一覧表

薬 剤 名	処理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
I 4. 成 苗 ・ 茎 葉 兼 土 壌 処 理	N-301粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダカ.	Ⓔ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴 土 (2cm/日 以下)	1) 低温時の使用は薬害 発生危険性があるの で使用はさしひかえる.
			寒冷地, 温 暖地東部の 普通期, 温 暖地東部の 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ミズガ ヤツリ, ホタルイ. ホタルイ: 発生 始~3L, ヘラオモダカ: 発生始~3L, ミズガヤツリ: 発生始~4L.			
			温暖地西部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタルイ.			
			暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ.			
I 5. 成 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大	B-3015・ S・MCPB 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	Ⓔ g/a 300 ~ 400	埴土~埴土 (2cm/日 以下)	1) 低温時の使用は薬害 発生危険性があるの で使用はさしひかえる. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意をまもる.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカ. ホタルイ: 発生 始~3L, ウリカワ: 発生 盛~5L, ヘラオモダカ: 発生始~4L, ミズガヤツリ: 発生始~3L.			
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.			
			温暖地西部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.			
			暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカワ.			
II 1.	S-28・AM 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ヘラオ モダカ	Ⓔ g/a 300 〔 400 暖 地 250~ 300 〕	砂壤土~埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 せで使用する. 2) 前処理剤としては, 一年生雑草・マツバイ ・ウリカワに有効な薬 剤を使用すること. 3) 低温時の使用は薬害 発生危険性があるの で使用はさしひかえる.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ, ヘラオモダカ.			
			温暖地東部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカワ.			
II 1.	RH-2915 粒	土 壌 混 和	寒地, 寒冷 地および暖 地の普通期.	荒代前又は荒代 時 (-2~-7).	Ⓔ g/a 300 ~ 400 〔 250~ 300 〕	埴土~埴土 (2cm/日 以下)	1) 混和深が浅いと薬害 の恐れがあるのでロー タリー混和とする. 2) 混合はていねいにす る.

薬 剤 名		処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ 1. 稚 苗 ・ 土 壌 混 和 処 理	RH-2915 粒(つづき)							3) 落水移植厳守のこと。
	RH-2915 乳	土 壌 混 和	暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ.	荒代前又は植代 前 (-2).	㊥ ml/a 12.5 (植代前) ～ 15.0 (荒代前)	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 混和はていねいにす る. 2) 落水移植厳守のこと。
	B-3015 乳	土 壌 混 和	寒冷地，温 暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ.	植代直前直後， (-3～-1). 〔但し，寒冷地 は-4～-1.〕	㊥ ml/a 60～ 120	砂壤土～埴 土. (2cm/日 以下)	1) 混和時の水深3～ 5cm. 2) 混和深2～3cm.
			暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタルイ.		㊥ ml/a 60～80		
			暖地の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ミズガ ヤツリ，ホタルイ.				
	B-3015 ・K 乳	土 壌 混 和	寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ.	植代直前直後， (-6～-1).	㊥ ml/a 50～75	砂壤土～埴 土. (2cm/日 以下)	1) 混和時の水深は3～ 5cm. 2) 混和深2～3cm.
			温暖地以西 の普通期， 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ミズガヤツリ.				
	G-315 ㊥ 乳	土 壌 混 和	全域の普通 期，暖地の 早期.	一年生雑草，マ ツバイ.	植代直前直後， (-3～-1).	㊥ ml/a 30	砂壤土～埴 土. (2cm/日 以下)	1) 混和時の水深は3～ 5cm. 2) 混和深2～3cm. 3) 吸着の悪い土壌(砂 壤土，腐植含量の少な い土壌)では水の動き の少ない場合，薬害の 発生の危険性があるの ので十分注意をする. 4) 寒地での腐植含量の 多い地帯での使用は効 果が安定しないのでさ ける.
	G-315 ・PS	土 壌 混 和	寒冷地，温 暖地東部， 暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ.	植代直後(ニゴ リ水時)， (-6～-1).	㊥ 2枚/a	砂壤土～埴 土. (2cm/日 以下)	1) 強風のときは使用を さしひかえる. 2) 10a以下均平水田で 使用する. 3) 水深3～5cm.
ブタクロ ール 乳	土 壌 混 和	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	植代直後， (-4～-3).	㊥ ml/a 37～ 44	壤土～埴壤 土. (1cm/日 以下)	1) 低気温および低水温 時の使用は薬害の危険 性があるので使用はひ かえる.	

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 1. ブタクロール乳 (つづき)		寒冷地，温暖地東部の普通期．	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ．		〔但し， 寒地は 44～ 50〕		2) ごく浅植えの場合薬害のおそれがある．
II 2. MC-79 粒 稚苗・移植前後土壌処理	土 壌	寒地，寒冷地，温暖地の普通期，温暖地東部の早期．	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ．	－3～＋8 (ノビエ1Lまで)． 〔但し，寒冷地は－7～＋8 (ノビエ1.0L)．〕	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	
	土 壌	温暖地西部の早期．	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ．	ホタルイ・ヘラオモダカ：発生前～発生始．			
	土 壌	暖地の普通期．	一年生雑草，マツバイ．				
SW-751 粒	土 壌	寒冷地，温暖地東部の普通期，早期．	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ウリカワ，ミズガヤツリ．	－3～＋7 (ノビエ1Lまで)． 〔但し，温暖地西部，ノビエ1.5L，暖地では2Lまで．〕	㊥ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	
	土 壌	温暖地西部以西の普通期．	一年生雑草，マツバイ，ウリカワ，ホタルイ．	ウリカワ：発生前～2L， ホタルイ：発生前～発生始， ミズガヤ：発生前～発生始．			
SW-751・A 粒	土 壌	寒冷地，温暖地東部の早期，普通期．	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ミズガヤツリ，ウリカワ．	－3～＋7 (ノビエ1Lまで)． 〔但し，温暖地西部，ノビエ1.5Lまで， 暖地では2Lまで．〕	㊥ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	
	土 壌	温暖地西部以西の普通期．	一年生雑草，マツバイ，ウリカワ，ホタルイ．	ウリカワ：発生前～2L， ホタルイ：発生前～始， ミズガヤツリ：発生前～始．	㊥ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	
MTS-1 粒	土 壌	全域の普通期，	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ．	－3～＋7 (ノビエ1Lまで)．	㊥ g/a	砂壤土～埴土	

薬 剤 名		処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ 2. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	MTS-1粒 (つづき)		温暖地以西 の早期.		ホタルイ：発生 前～発生始.	300～ 400	(2cm/日 以下)	
	OM-202 粒	土 壌	寒冷地，温 暖地の普通 期.	一年生雑草.	+0～+3.	⊕ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) ONP 粒に準ずる.
	OM-203 粒	土 壌	寒冷地，温 暖地の普通 期.	一年生雑草.	+0～+3.	⊕ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) ONP 粒に準ずる.
	NK-049 ・S 粒	土 壌	寒冷地以西 の普通期， 温暖地東部 および暖地 の早期.	一年生雑草，マ ツバイ.	-3～-1，+ 2～+3.	⊕ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 抑草期間が短いので 組み合わせ処理の前処理 剤として使用する.
	CNP-18 粒	土 壌	全域普通期.	一年生雑草，マ ツバイ.	-3～+7 (ノビエ1Lまで).	⊕ g/a 300	壤土～埴土 (極端な漏 水田を除く).	
	X-52 水和	土 壌	寒冷地以西 の普通期， 温暖地東部 の早期.	一年生雑草，マ ツバイ.	移植当日(±0).	⊕ g/a 30	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 移植前後に適下処理 する. 2) 水稻移植直後の場合 は水稻の茎葉にかから ないようにする.
	X-52・ SK-23 粒	土 壌	寒地，寒冷 地. 温暖地東部 の普通期， 早期. 温暖地西部， 暖地の普通 期. 暖地の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタルイ. 一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヒメホタル イ. 一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ. 一年生雑草，マ ツバイ，ミズガ ヤツリ.	-3～+7 (ノビエ1Lまで). ホタルイ・ヒメ ホタルイ：発生 前～発生始， ミズガヤツリ： 発生前～3L.	⊕ g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日 以下) 砂壤土 (1cm/日 以下)	1) X-52粒剤に準じる.
	ブタクロ ール(5.0) 粒	土 壌	寒 地. 寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ. 一年生雑草，マ ツバイ，ホタルイ.	-8～+10 (ノビエ1.5L). ホタルイ：発生 前～2L， ヘラオモダカ： 発生前～始. -6～-3 (ノビエ1.5L).	⊕ g/a 200～ 300 ⊕ g/a 200	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 極端な浅植はさける. 2) 低温時には使用しな い. 3) 200g/a散布は多口 ホース散布とする.

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 1. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	ブタクロール(5.0)粒 (つづき)		ヘラオモダカ.	ホタルイ：発生 前～2L, ヘラオモダカ： 発生前～始.	㊥ g/a 300		
			一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ミズガヤツ リ.	+3～+10 (ノビエ1.5L). ホタルイ：発生 前～2L, ミズガヤツリ： 発生前～3L.			
			温暖地以西 の普通期， 暖地の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ミズガヤツ リ.	㊥ g/a 300	同 上	同 上
II 3. 稚 苗 ・ 移 植 後 土 壌 処 理	S-28 粒	土 壌	温暖地の普 通期.	一年生雑草，マ ツバイ.	㊥ g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	
			暖地の普通 期，早期.			砂埴土～埴 土 (1cm/日 以下)	
	MSW-1 粒	土 壌	寒冷地以西 の普通期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ.	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (1cm/日 以下)	
	モリネート ・M 粒	土 壌	寒冷地，温 暖地東部の 普通期，温 暖地東部の 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ミズガヤツ リ.	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (1cm/日 以下)	
			暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ.			
			暖地の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ミズガ ヤツリ.			
	モリネート ・K 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	㊥ g/a 300～ 400	砂埴土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) コナギ多発田では早 目(2Lまで)に使用 する.
			寒冷地，温 暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ： 発生始～3L.			

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ 3. 稚 苗 ・ 移 植 後 土 壌 処 理 (つづき)	モリネート ・K 粒 (つづき)		ミズガヤツリ.	ミズガヤツリ： 発生始～3L.			
		温暖地東部の早期， 暖地の普通期，早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ミズガヤツ リ.				
	モリネート ・K・PHC 粒	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	+5～ノビエ 2.5Lまで. ホタルイ：発生 始～3L， ヘラオモダカ： 発生始～3L， ミズガヤツリ： 発生始～3L.	㊥ 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) コナギ多発田では早 目(2Lまで)に使用 する. 2) PHC が適用できる 地帯で使用する.
		寒冷地，温 暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ミズガヤツリ.				
	MT-B- 3015㊥ 粒	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	+2～ノビエ2 Lまで. ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ：発生始～ 2L.	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	
		寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ.				
		温暖地以西 の普通期， 温暖地東部 および暖地 の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ.				
Ⅱ 4. 稚 苗 ・ 茎 葉 兼 土 壌 処 理	S-28・ SM 粒	温暖地の普 通期，温暖 地東部の早 期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ，ヘラオモダ カ.	+12～ノビエ 2.5L. ウリカワ：発生 始～4L， ヘラオモダカ： 発生始～4L.	㊥ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る.
	CG-102 粒	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	+8～ノビエ 2.5L. 〔但し，寒地は〕 +7～ノビエ 2.0L，寒冷 地は+10～ ノビエ2.5L.〕	㊥ g/a 300	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る.
		寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ヘラオ モダカ.				
		温暖地以西 の普通期.	一年生雑草，マ ツバイ.				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ — 4. 稚 苗 ・ 茎 葉 兼 土 壌 処 理 (つづき)	CG-102 粒 (つづき)		温暖地東部 および暖地 の早期.	ホタルイ：発生 始～2 L. ヘラオモダカ： 発生始～2L.			
	TH-63 粒	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	+8～ノビエ 2.5 L. 〔但し，寒地+ 7-2.0 L， 寒冷地+10～ 2.5 L， 温暖地西部以 西+8～3.0 Lまで.〕	㊥ g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る.
		寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ.				
		温暖地以西 の普通期， 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ.	ホタルイ：発生 始～5 L， ヘラオモダカ： 発生盛～4 L， ウリカワ：発生 盛～5 L. ミズガヤツリ： 発生盛～6 L.			
	SMX 粒	温暖地東部 の普通期， 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ.	+10～ノビエ 2.0 L. ウリカワ：発生 盛～5 L， ホタルイ：発生 始～3 L， ミズガヤツリ： 発生盛～4 L.	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る.
		温暖地西部 の普通期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ，ミズガヤツリ.				
モリネット ・KM 粒	茎 葉 兼 土 壌	温暖地以西 の普通期， 温暖地東部 の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ.	+10～ノビエ 3 L.	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 低温時の使用は薬害 発生の危険性があるの で使用はさしひかえる.
		暖地の早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ，ミズガヤツ リ.	ホタルイ：発生 始～3 L， ウリカワ：発生 始～4 L， ミズガヤツリ： 発生始～3L.			
B-3015・ S・MCPB粒		寒冷地，温 暖地東部，	一年生雑草，マ ツバイ，ホタルイ，	+15～ノビエ 3.0 L.	㊥ g/a	壤土～埴土	1) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る.

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ 4. 稚 苗 ・ 茎 葉 兼 土 壌 処 理 (つ づ き)	B-3015・ S・MCPB 粒 (つづき)	茎 葉 兼 土 壌	の普通期、 早期。	ヘラオモダカ、 ウリカワ、ミズ ガヤツリ。	300～ 400	(2cm/日 以下)	2) 低温時の使用は薬害 発生の危険性があるの で使用はさしひかえる。
			温暖地西部 の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。			
			暖地の普通 期。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカワ。			
	KH-195 粒	茎 葉 兼 土 壌	温暖地以西 の普通期、 温暖地東部 の早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。 +10～ノビエ2.0L。 〔但し、暖地は +7～ノビエ 2.0L。〕 ホタルイ：発生 始～3L、 ウリカワ：3～ 4L。	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 低温時の使用は薬害 発生の危険性があるの で使用はさしひかえる。
Ⅱ 5. 稚 苗 ・	モリネート ・SM 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ。 +15～ノビエ 3.5L。 〔但し、寒冷地 はイネ5.0L 以降、暖地は イネ6.0L以 降。〕 ホタルイ：発生 始～5L、 ヘラオモダカ： 発生始～4L、 ウリカワ：発生 盛～6L、 ミズガヤツリ： 発生始～4L、 ヒメホタルイ： 10cm以内。	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る。 2) 低温時の使用は薬害 発生の危険性があるの で使用はさしひかえる。
			温暖地東部 の普通期、 早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、 ヒメホタルイ。			
			温暖地西部 の普通期、 暖地の早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ。			
			暖地の普通 期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。			
Ⅱ 5. 稚 苗 ・	S-28・ SM 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地。	一年生雑草、マ ツバイ、ヘラオ モダカ。	㊥ g/a 300	砂壤土～埴 土 (1.5cm/ 日以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する。 2) シメトリン・ホルモ ン系除草剤の使用上の 注意を守る。
			寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ。 田植前後土壌処 理をした場合、 +20～+30(ノ ビエ2.5L)。 〔但し、寒地で はノビエ2.0L〕			

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大	S-28・SM 粒(つづき)			〔寒冷地以北ではイネ5.0 L 以降。〕 ウリカワ：発生 始～3 L, ヘラオモダカ： 発生始～2 L.		〔但し、寒 地は壤土 ～埴土 (1.5 cm /日以下)〕	
		温暖地東部の普通期、 早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ヒメホタル イ。	+15+25 (ノビエ2.5 L). ウリカワ：3～ 4 L, ヒメホタルイ： 5～10 cm.			
	HOK-05 ・B 粒 茎 葉 兼 土 壌	寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。	田植前後土壌処 理をした場合、 +20～+25 (ノビエ2 L).	㊞ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2 cm/日 以下) 砂埴土 (1 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する。 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意をまもる。 3) 低温時の使用は薬害 の危険性があるので使 用はさしひかえる。
		温暖地東部の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ヘラオモダ カ、ホタルイ、 セリ。	〔暖地普通期+ 16～+25 但し、寒冷地 はイネ5.0 L 以降。〕			
		温暖地西部 以西の普通 期、暖地の 早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ホタルイ。	ホタルイ：発生 始～2 L, ヘラオモダカ： 発生始～5 L, ウリカワ：発生 始～5 L, セリ：増殖初期 まで。			
HOK-06 粒 茎 葉 兼 土 壌		寒冷地。	一年生非イネ科 雑草、マツバイ、 ホタルイ、オモ ダカ、ミズガヤ ツリ。	田植前後土壌処 理をした場合、 +30～+35。 一年生非イネ科： 生育期。	㊞ g/a 300～ 400	砂埴土～埴 土 (2 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する。 2) 低温時の使用は薬害 の危険性があるので使 用はさしひかえる。
		温暖地の普通期、温暖 地東部の早期。	一年生非イネ科 雑草、マツバイ、 ウリカワ、ホタ ルイ、ミズガヤ ツリ。	ホタルイ：発生 前～4 L, ウリカワ：発生 盛～6 L, オモダカ：発生 盛～6 L,			
		暖地の早期。	一年生非イネ科 雑草、マツバイ、 ウリカワ、ミズ ガヤツリ。	ミズガヤツリ： 発生盛～6 L.			

薬 剤 名		処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ ― 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	CG-102 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ヒルムシロ.	田植前後土壌処 理をした場合, +15 ~ +25 (ノビエ2.5 L). 〔但し, 寒地は〕 〔2.0 L まで.〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ: 発生 始~2 L, ヒルムシロ: 発 生盛~増殖初 期, ヒメホタルイ: 5 ~ 10 cm .	㊥ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤と 同様の使用上の注意を 守る. 3) ミズガヤツリに有効 な前処理剤を使用する.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ヒルムシロ, ミズガヤツリ.				
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ, ヒルムシロ, ヒメホタルイ. 〔但し, 早期は ヒルムシロ, ヒメホタルイ を除く.〕				
			温暖地西部 普通期, 早 期, 暖地の 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.				
			暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ.				
	TH-63 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ.	田植前後土壌処 理をした場合, +15 ~ +25 (ノビエ2.5 L). 〔但し, 寒地は〕 〔2.0 L .〕 ホタルイ: 発生 盛~5 L, ウリカワ: 発生 盛~5 L, ヘラオモダカ: 発生盛~4 L, ミズガヤツリ: 発生盛~6 L, ヒルムシロ: 発 生盛~増殖初 期, ヒメホタルイ: 5 ~ 10 cm .	㊥ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴 土. (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ.				
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ, ウリカワ, ヒメホタルイ.				
			温暖地西部 の普通期, 早期, 暖地 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
			暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.				

薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ ― 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つ づ き)	NK-049 粒	土 壤	温暖地西部 以西の普通 期.	一年生雑草.	－ 2 ～ － 3 .	⊕ g/a 300 ～ 400	壤土～埴土 (1cm／日 以下)	1) 体系処理の前処理剤 として使用する.
	シメトリン ・MCPB (2.5) 粒	茎 葉 兼 土 壤	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合, + 20 ～ + 25 (ノビエ 1.5 L).	⊕ g/a 300	壤土～埴土 (2cm／日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は葉害 の危険性があるので使 用はひかえる.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタルイ.	〔 但し, 寒地は + 20 ～ + 30, 寒冷地以北は イネ 5.0 L 以 降. 〕	⊕ g/a 300 ～ 400		
			温暖地東部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ.				
	シメトリン ・MCPB (3.5) 粒	茎 葉 兼 土 壤	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, + 20 ～ + 25 (ノビエ 2.0 L).	⊕ g/a 300	砂壤土～埴 土 (2cm／日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は葉害 の危険性があるので使 用はひかえる.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.	〔 但し, 寒地は + 20 ～ + 30, 寒冷地以北は イネ 5.0 L 以 降. 〕 ホタルイ：発生 始～2 L. ウリカワ：発生 始～4 L. ヘラオモダカ： 発生始～2 L.			
	SMX 粒	茎 葉 兼 土 壤	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, + 15 ～ + 25 (ノビエ 2.0 L まで).	⊕ g/a 300	砂壤土～埴 土 (2cm／日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は葉害 の危険性があるので使 用はひかえる.
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	〔 但し, 寒冷地 では + 20 ～ + 25 イネ 5.0 L 以降, ノビエ 2.0 L まで. 〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ヘラオモダカ： 発生盛～5 L.			
			温暖地西部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ, ミズガヤツ リ.				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ ― 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つ づ き)	SMX(Na) 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, + 15 ~ + 25 (ノビエ 2 L). 〔但し, 寒冷地〕 + 20 ~ + 25, イネ 5.0 L 以 降ノビエ 2.0 L まで. ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ・ヒメホタ ルイ : 発生盛 ~ 5 L.	㊥ g/a 300	砂壤土 ~ 埴 土 (2 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は薬害 の危険性があるので使 用はひかえる.
			温暖地東部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
	BAS - 3510 水和	茎 葉 (落 水 散 布)	寒冷地.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, ヘラ オモダカ, オモ ダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, 一年生非イネ科 : 生育期. ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ・ヘラオモ ダカ・オモダカ セリ : 発生盛 ~ 増殖初期, コウキヤガラ : + 30 日前後.	㊥ g/a 40 ~ 60	全土壌	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) 散布は水稲になるべ くかからないようにす る. 3) 処理後の灌水は 48 ~ 72 時間経過後に行 なう.
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズガ ヤツリ, ヘラオモ ダカ, コウキヤガ ラ, オモダカ, (但し, 早期はオ モダカを除く).				
			温暖地西部 の普通期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, ヘラ オモダカ, コウ キヤガラ, オモ ダカ, セリ.				
			暖地の普通 期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, ヘラ オモダカ, コウ キヤガラ.				
			暖地の早期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, コウ キヤガラ.				

薬 剂 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	BAS - 3510(Na) 液	寒冷地.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, オモ ダカ, ヘラオモ ダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, 一年生非イネ科 : 生育期. ホタルイ・ウリ カワ・オモダカ ・ヘラオモダカ ・セリ・コウキ ヤガラ: 発生盛 ~増殖初期.	㊟ ml/a 40 ~ 60	全土壌	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) 散布は水稲になるべ くかからないようにす る. 3) 処理後の灌水は48 ~72時間経過後に行 う.
		温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ.				
		温暖地西部 の普通期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, オモ ダカ, セリ, ヘ ラオモダカ.				
		暖地の普通 期.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, コウ キヤガラ.				
		暖地の早期.	一年生非イネ科 雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, コウキヤガラ.				
モリネット ・KM 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, オモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, +20 ~ +25. 〔但し, イネ5 L以降ノビエ 3.0 Lまで.〕 ホタルイ: 発生 始~3 L, ミズガヤツリ: 発生始~4 L, ヘラオモダカ: 発生前~4 L, オモダカ: 発生 始~3 L, ウリカワ: 発生 始~4 L.	㊟ g/a 300	砂壤土~埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) 低温時の使用は葉害 発生の危険性があるの で使用はひかえる. 3) 暖地早期は4月中旬 以降の移植のものに限 る.
		温暖地以西 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	+15 ~ +25 (ノビエ3 L). ホタルイ: 発生 始~3 L, ウリカワ: 発生	㊟ g/a 300 ~ 400		

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ — 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	モリネット ・KM粒 (つづき)			始～4 L, ミズガヤツリ: 発生始～3L.				
	MT-101 粒	土 壤	寒冷地以西 の普通期.	一年生広葉雑草, マツバイ, ウリ カワ.	+ 5 ～ + 10. ウリカワ: 発生 始～3 L.	㊥ g/a 300 ～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	
	TNY-53 粒	土 壤	全域の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ.	- 3 ～ + 5 (ノ ビエ1 L). 〔但し, 寒地・ 寒冷地北部は + 3 ～ + 7 (ノビエ1 L).〕	㊥ g/a 200 ～ 300 〔但し, 寒 地寒冷地 北部は 200〕	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 浅水処理をする.
	B-3015・ S・MCPB 粒	茎 葉 兼 土 壤	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合, + 20 ～ + 30 (ノビエ3 L).	㊥ g/a 300 ～ 400 〔但し, 寒地 では300〕	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせて使用する. 2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は薬害 発生の危険性があるの で使用はひかえる.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ.	〔但し, 寒地 では2.5 L, 寒 冷地以北では イネ5.0 L以 降.〕			
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	ホタルイ: 発生 始～4 L, ウリカワ: 発生 始～4 L, ヘラオモダカ: 発生始～4 L, ミズガヤツリ: 発生始～4 L.			
			温暖地西部 以西の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.	+ 20 ～ + 25 (ノビエ3 L). ホタルイ: 発生 始～4 L, ウリカワ: 発生 始～5 L.			
	N-301 粒	茎 葉 兼 土 壤	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合, + 20 ～ + 25 (ノビエ2.5 L). 〔但し, 寒地 ではノビエ2.0 L	㊥ g/a 300 ～ 400 〔但し, 寒地 では300〕	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 低温時の使用は薬害 の発生の危険性がある ので使用はひかえる.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタルイ.	〔但し, 寒地 ではノビエ2.0 L			

薬 剤 名		処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	N-301粒 (つづき)			ミズガヤツリ.	寒冷地以北ではイネ5.0L以降. ホタルイ：発生始～3L, ヘラオモダカ：発生始～2L, ミズガヤツリ：発生始～4L.			
			温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.				
			温暖地西部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ.				
			暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ.				
	MCP・BAS(Na) 液	茎 葉 (落 水 散 布)	寒冷地.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ミズガヤツリ.	MCP散布時期に準ずる. 〔但し, 寒冷地〕は+40～+48 暖地は+15～+26. 一年生非イネ科：生育期, ホタルイ：発生揃～4L, ウリカワ：塊茎形成前, ヘラオモダカ：発生揃～5L, ミズガヤツリ：発生揃～8L. コウキヤガラ：+30～+40.	㊥ ml/a 30～50	全土壌	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 水稲になるべくかからないように散布する. 3) 入水は処理後48～72時間経過後に行う.
			温暖地以西の普通期.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, コウキヤガラ.				
	MCP・BAS㊥ 粒	茎 葉	寒 地.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, +30～+45. 〔但し, 温暖地〕は+20～+30. 一年生非イネ科：生育期, ホタルイ：発生揃～4L, ヘラオモダカ：発生揃～6L, ミズガヤツリ：発生揃～6L, ウリカワ：増殖開始前.	㊥ g/a 300～400	砂壤土～埴土 (1.5cm / 日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 浅水もしくは落水散布.
			寒冷地.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ.				
			温暖地の普通期, 温暖地東部の早期.	一年生非イネ科, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
	モリネット・SM 粒		寒 地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, +20～+30.	㊥ g/a 300～400	砂壤土～埴土	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ — 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	モリネット ・SM粒 (つづき)	茎 葉 兼 土 壌	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ.	〔ノビエ3.5 L まで. 但し, 寒地は 2.5 Lまで.〕 ホタルイ: 発生 始〜5 L, ウリカワ: 発生 始〜4 L, ヘラオモダカ: 発生始〜4L, オモダカ: 発生 始〜5 L, ミズガヤツリ: 2〜6 L, ヒメホタルイ: 10cm 以下.	(2cm/日 以下)	2) シメトリン混合剤の 使用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は葉害 発生の危険性があるの で使用はひかえる. 4) ミズガヤツリの場合 は, ミズガヤツリに有 効な土壌処理剤(前処 理剤)とを組み合わせ て使用する.
			温暖地東部 の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒメホタルイ.			
			温暖地西部 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ, ミズガヤツ リ.			
			暖地の早期.	一年生雑草,マツ バイ,ホタルイ,ウ リカワ, ミズガヤ ツリ.			
	2.4-D・ BAS① 粒	茎 葉	温暖地の普 通期.	一年生非イネ科 雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリ カワ, ミズガヤ ツリ, ヒメホタ ルイ.	田植前後土壌処 理をした場合, +30〜+35. 一年生非イネ科: 生育期. ホタルイ: 発生 揃〜4 L. ミズガヤツリ: 発生揃〜6L. ウリカワ: 増殖 開始前, ヒメホタルイ: 草丈5〜10 cm.	㊥ g/a 300〜 400	砂壤土〜埴 土 (1.5cm/日 以下)
MCC・ M-15 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合, +25〜+30 (ノビエ2 L). ホタルイ・ヘラ オモダカ: 発生 始〜2 L.	㊥ g/a 300	埴土〜埴土 (2cm/日 以下)	1) 道央以南.
KH-191 粒	茎 葉 兼 土 壌	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.	田植前後土壌処 理をした場合, +15〜+25 (ノビエ1.5L). ホタルイ: 発生 始.	㊥ g/a 300〜 400	埴土〜埴土 (2cm/日 以下)	

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(X-52)→ S-28・ AM 粒	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ヘラオモ ダカ, ウリカワ.	田植前後土壌処 理をした場合, +20~+25. (ノビエ2.5 L まで).	Ⓢ g/a 300	壤土~埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせで使用する. 2) 低温時の使用は薬害 の危険性があるので使 用はひかえる.
		温暖地東部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ.	〔但し, 寒冷地 以北ではイネ 5.0 L以降.〕 ウリカワ: 5 L まで, ヘラオモダカ: 始~2 L.		埴土~埴土 (2cm/日 以下) 砂壤土 (1.5cm/ 日以下)	
	BAS - 3510(Na) 粒	寒 地.	一年生非イネ科, マツバイ, ヘラ オモダカ, ホタ ルイ.	田植前後土壌処 理をした場合, 一年生非イネ科: 生育期, ホタルイ・ヘラ オモダカ: 発生 盛期, 増殖初 期.	Ⓢ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日 以下)	1) 浅水散布, 3 日止水 をする.
	SC-7616 粒	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ.	田植前後土壌処 理をした場合, +20~+25. (ノビエ2.0 L まで).	Ⓢ g/a 300	砂壤土~埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合 わせで使用する. 2) 低温時の使用は薬害 発生の危険性があるの で使用はひかえる.
		温暖地東部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ, ホタルイ.	〔但し, 寒冷地 はイネ5.0 L 以降.〕 ウリカワ: 発生 盛~5 L, ホタルイ: 発生 始~2 L,			
	MCP・ BAS 水和 葉	暖地の早期.	コウキヤガラ.	MCP 処 理 時 期 に準ずる. コウキヤガラ: +25 ~+36. (生葉1~7L, 草丈60cm 程度)	Ⓢ g/a 50	全土壌	

薬 剤 名		処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅲ 1. 湛 水 直 播	TNY - 53 粒	土 壤	温暖地西部 以西.	一年生雑草, マ ツバイ.	植代後 (-5~-2).	㊥ g/a 200 ~ 300	壤土~埴土 (1cm/日 以下)	
	G-315㊥ 乳	土 壤	温暖地東部.	一年生雑草.	播種後, 雑草発生前~始 (イネ出芽前).	㊥ ml/a 30 ~ 40	壤土~埴土	1) 雑草発生前より発生 始期でより効果が大き い.
	BAS - 3510(Na) 液	茎 葉	温暖地以西.	ミズガヤツリ, 一年生広葉雑草.	一年生広葉雑草 : 生育期. ミズガヤツリ: 発生前後~7 L.	㊥ ml/a 入水前 40~60 入水後 30~60	全土壌	1) 入水後処理も落水処 理で効果が高い. 2) DCPA剤と7日以内 の近接散布はさける.
	S - 28・ P 乳	土 壤	温暖地東部.	一年生雑草.	播種後, 雑草発生前~始 (イネ出芽前).	㊥ ml/a 80 ~ 120	壤土~埴土	
	B - 3015 ・P 粒	土 壤	温暖地西部 以西.	一年生雑草.	播種直後 (+0~+1).	㊥ g/a 400 ~ 600	砂壤土~埴 土 但し, 暖地 は砂壤土を 除く.	
Ⅲ 2. 乾 田 直 播	B - 3015 ・P 乳	土 壤	寒冷地以西.	一年生雑草.	播種直後~ イネ出芽前まで (ノビエ1Lまで).	㊥ ml/a 60~100 〔但し, 寒冷地 温暖地 東部は 60~80〕	砂壤土~埴 土 〔但し, 寒冷 地は砂壤土 を除く.〕	
	DCMU 水和	茎葉兼土 壌	寒冷地~温 暖地.	全草種.	発生前~発生始 期.	㊥ g/a 15 ~ 30	全土壌	畦畔散布上の注意を守る.

昭和51年度畑作関係除草剤 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度畑作関係除草剤の試験成績中央検 討会結果を報告する。